



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F R S  
 (登記社名 株式会社フォーバル・リアルストレート)  
 代表者名 代表取締役社長 吉田 浩司  
 (コード 9 4 2 3 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役管理部長 早川 慎一郎  
 (TEL 03-6826-1502)

## 通期業績予想と実績値との差異及び 通期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績につきまして、通期業績予想及び前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績値との差異について(2021年4月1日～2022年3月31日)

・個別

(百万円)

	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	100	100	60	2円53銭
当期実績(B)	52	52	50	2円12銭
増減額(B-A)	△48	△48	△10	—
増減率(%)	△47.7	△47.7	△16.0	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	85	86	103	4円36銭

#### 2. 当期実績値(2021年4月1日～2022年3月31日)と前期実績値(2020年4月1日～2021年3月31日)との差異について

・個別

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2021年3月期)	1,901	85	86	103	4円36銭
当期実績値(B) (2022年3月期)	2,153	52	52	50	2円12銭
増減額(B-A)	252	△33	△34	△52	—
増減率(%)	13.3	△38.9	△39.8	△51.1	—

#### 3. 差異の理由

当事業年度において、当社は顧客企業の移転時における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を行ってまいりました。不動産仲介につきましては、顧客単価が前年度比で約20%、成約件数が前年度比で約9%、それぞれ減少となったことから、売上高、利益とも前期実績値を大きく下回りました。内装工事やOA機器・什器の販売につきましては、顧客単価は前年並みだったものの、成約件数が前年度比で約43%の大幅な増加となり、売上高、利益とも前期実績値を上回りました。

その結果、売上高は前期実績値を上回る結果となったものの、営業利益、経常利益及び当期純利益

は、予想数値及び前期実績を下回ることとなりました。

(注) 2022年3月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 決算短信」をご参照ください。

以上